

# 平成25年度 桜川市決算報告

## 一般会計・歳入の内訳

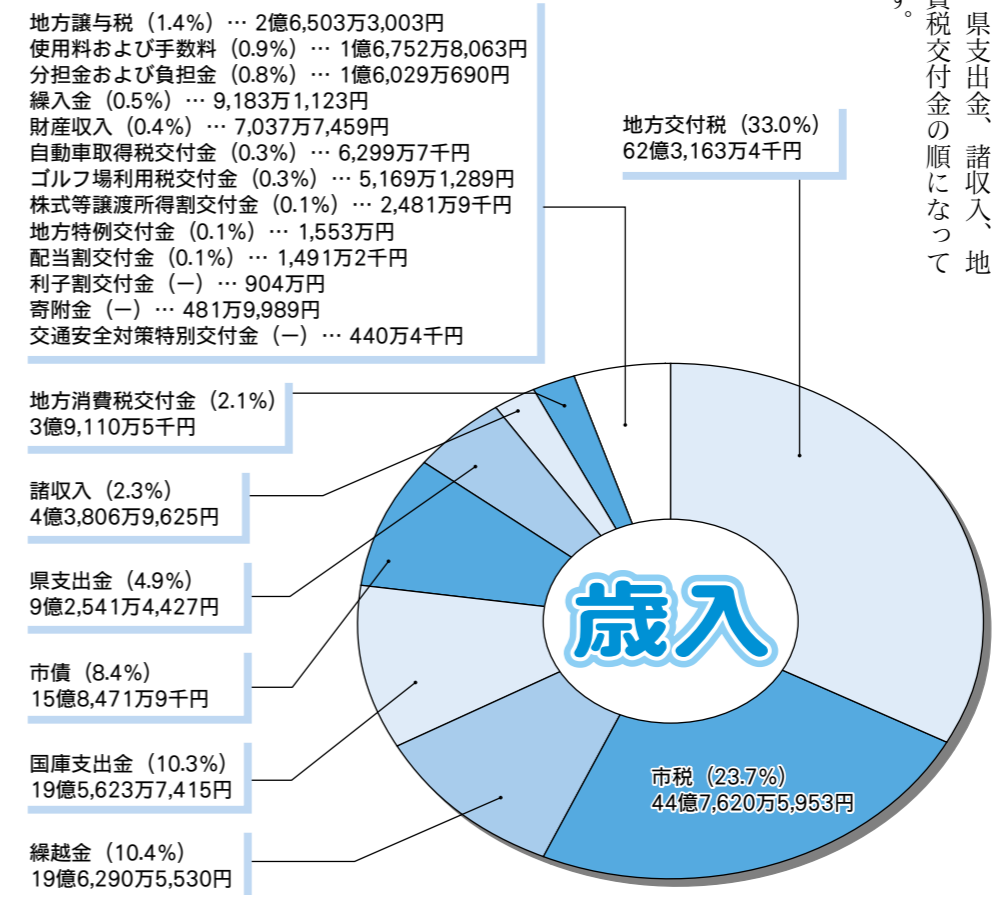
189億956万  
4,566円

歳入は、市の財源として入ってくるお金です。その決算額は189億956万4,566円。グラフ1（下・円グラフ）は、その内訳を表したものです。

所得税・消費税などの国税の一部を国から交付された地方交付税が約33%を占めています。次いで、市民の皆様に納めていただいた市民税などの市税が約24%。続いて、繰越金が約10%。児童手当負担金、生活支援や公共施設改修など特定事業に対する国から支出された国庫支出金も約10%となっています。以下、

市債、県支出金、諸収入、地方消費税交付金の順になっています。

（グラフ1）



## 歳入・歳出総額

区分	歳入	歳出
一般会計	189億956万4,566円	168億6,264万990円
特別会計	国民健康保険	57億3,519万8,162円
	農業集落排水事業	4億7,889万6,182円
	公共下水道事業	7億2,398万3,671円
	介護保険	36億5,189万9,598円
	介護サービス事業	713万1,262円
後期高齢者医療	3億4,743万399円	
合計	303億3,036万6,595円	278億718万264円

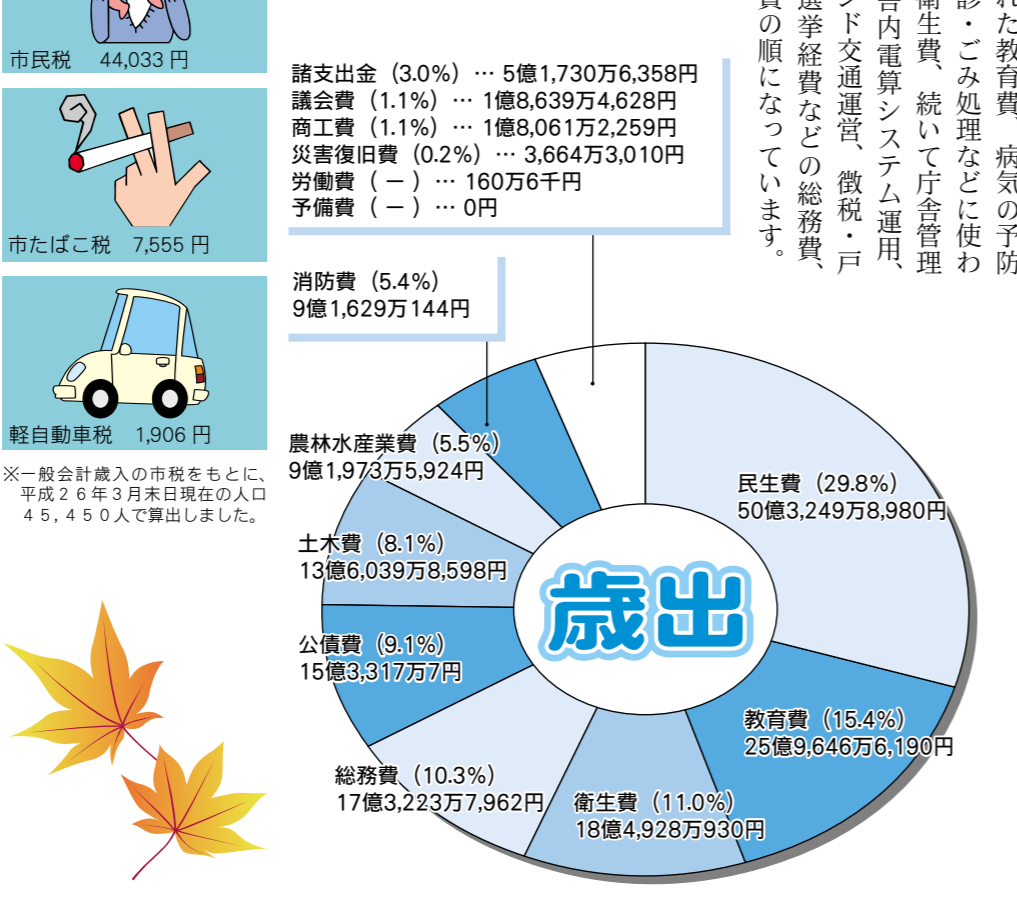
## 一般会計・歳出の内訳

168億6,264万  
990円

歳出は、市民の皆様のために使われるお金です。その決算額は168億6,264万990円。グラフ2（下・円グラフ）は、歳出を目的別に表したものです。児童手当やお年寄り、身体の不自由な方などのため使われた民生費が最も多く、次いで給食センター建設事業や学校施設の耐震補強および改修工事、生涯学習の振興などに

使われた教育費、病気の予防や健診・ごみ処理などに使われた衛生費、続いて庁舎管理や庁舎内電算システム運用、デマンド交通運営、徴税・戸籍、選挙経費などの総務費、公債費の順になっています。

（グラフ2）



## 水道事業会計決算

区分	収入	支出
収益的事業	9億3,188万397円	9億5,528万3,231円
資本的事業	7,014万5,800円	2億9,734万8,700円

## 市民一人あたりでは

使われたお金 371,015円  
納めていただいた市税 98,486円

子ども・お年寄り、身体の不自由な方などのために  
民生費 110,726円

学校施設の維持補修や生涯学習振興などに  
教育費 57,128円

ごみ処理や公衆衛生費に  
衛生費 40,688円

戸籍・庁舎管理や選挙経費、情報管理などに  
総務費 38,113円

市の借入金の返済などに  
公債費 33,733円

道路などの建設・修繕などに  
土木費 29,932円

農林業の振興を図るために  
農林水産業費 20,236円

防災対策、消防、緊急救命活動などに  
消防費 20,160円

議会、商工労働、災害復旧などに  
諸支出金・議会費・商工労働・災害復旧費・労働費 20,299円

※一般会計歳入の市税をもとに、平成26年3月末現在の人口45,450人で算出しました。